

令和2年度上期文化活動助成金交付申請書

令和元年12月 日

公益財団法人広島市文化財団理事長 様

(ふりがな)	
団体名	
(ふりがな)	
代表者 職・氏名	職名 氏名 (芸名：) 印 ※ 氏名は本名をご記入ください。芸名等がある場合は芸名欄に記入してください。
事務局 (代表者) 所在地	〒
連絡先 (担当者) 所在地	〒
(ふりがな)	
担当者 氏名	氏名 (芸名：) ※ 氏名は本名をご記入ください。芸名等がある場合は芸名欄に記入してください。
担当者電話1	
担当者電話2	
担当者電話3	
担当者FAX	
担当者Eメール1	
担当者Eメール2	

※ 記入に当たっては、記入例を参照のうえ、楷書で記入してください。

※ この申請書に記載していただく個人情報につきましては、選考に関する業務及び採否の結果通知のために利用します。また、審査委員会の審査に必要な範囲で審査委員に提供することを除いては、第三者に個人情報を提供することはありません。

※ 申請内容についてお尋ねすることがありますので、担当者の方は連絡の取れる連絡先をご記入ください。確認が取れなかった場合、審査対象とならないことがあります。

3 収支予算

【収入】 ※予算額は千円単位（千円未満は切捨て）

費目	予算額	内 訳
入場料収入		
寄付金等		
広告料収入		
助成金 ※(1)		
自己負担金		
他団体助成金		
合計 ※(2)	千円	

【支出】 ※予算額は千円単位（千円未満は切上げ）

費目	予算額	内 訳
助成対象費目 ※(3)	印刷費	
	会場 使用料	
	舞台 (会場) 設営費	
	小計	千円
舞台費		
報償費 ※(4)		
練習場使用料		
事務費・その他		
合計 ※(2)	千円	

※(1) 【収入】の「助成金」の予算額には、【支出】の助成対象費目（円単位）の合計（印刷費＋会場使用料＋舞台＜会場＞設営費）の2分の1（千円未満は切捨て）以内、200千円を限度として金額を記入してください。

※(2) 【収入】の合計金額と、【支出】の合計金額は同額になるようにしてください。

※(3) 助成金の交付が決定した場合は、報告書の提出時に助成対象費目の領収証（コピー）が必要となります。

※(4) 申請団体の構成員に対して利潤が配分される場合は営利事業とみなし、助成の対象となりません。

4 団体概要（団体の場合）

（個人が応募する場合は「4 団体概要（No. 4）」ではなく、「5 個人略歴（No. 5）」に記入してください。）

（令和元年12月現在）

（ふりがな） 団 体 名			
ホームページ アドレス			
設立年月日	昭和・平成・令和	年	月 日
沿 革			
目 的			
加入条件			
会 費		会 員 数	人
定例活動日時 及び場所		会員数のうち広島市 内在住・通勤・通学者 の人数	人
主な事業実績 （実施時期・場所・内容、入場者数、当財団以外の助成金・補助金等の受領実績等* 予定を含む）			
平成29年度	平成30年度	令和元年度	

※団体の規約、団体構成員名簿（氏名、住所、指導者歴・受賞歴等の特筆すべき活動歴、広島市外在住者は通勤・通学先を記載）及び団体の活動状況が分かるもの（活動実績一覧、事業のパフレット等）を添付してください。

5 個人略歴

(団体、グループの場合は、代表者又は芸術上中核となる者〔芸術監督・プロデューサー等〕の個人略歴を作成してください。)

(令和元年12月現在)

ふりがな 氏名(本名)			生年月	年	月	
ふりがな (芸名)			性別	男	・	女
勤務先等			ホームページ アドレス			
経 歴	年	月	文化団体所属歴、主な文化活動歴等			
受賞歴等	年	月	受賞名等			
主な公演・展示等の実績 (実施時期、場所、内容、入場者数、当財団以外の助成金・補助金等の受領実績等*予定を含む) ※個人が応募する場合に記入してください。						
平成29年度		平成30年度		令和元年度		

※活動状況が分かるもの(活動実績一覧、事業のパフレット等)を添付してください。

文化活動助成事業申請セルフチェック表 ※ この用紙の提出は不要です。

提出書類に不備があった場合審査対象となりませんので、よくご確認のうえ、提出してください。

(記入前)

1 助成対象について

- 事業が広島市内で開催され、広く市民に公開されています。
- 非営利の事業です。
- 政治又は宗教活動と関わりのない事業です。
- 文化活動の場が主として広島市内です。
- 個人、又は団体の構成員及び出演者・出品者の5割以上が広島市内に居住または通勤・通学しています。
- 広島市及びその関係団体等（国、地方公共団体及びその関係団体を含む。）（以下、公的団体）から助成金・補助金・負担金等の交付を受けておらず、又、受けることも決定していません。

※公的団体へ申請中または今後申請するものについては、交付が決定した時点で辞退していただくようになります。

ただし、当財団の交付決定後に公的団体から交付決定通知を受けた場合は、当財団か公的団体どちらかの助成金を辞退していただくようになります。

（以下、団体の場合のみ）

- 団体の所在地又は連絡先が広島市内にあります。
- 目的、組織、代表者等団体の運営に必要な事項についての定めがあります。
- 国、地方公共団体及び企業等が資本金、基本金その他これらに準ずるものを出資した法人ではないです。
- 非営利団体です。
※「講師が会費等を徴収する教室」「活動費が学校や学友会等から出ているクラブ・サークル」等は助成対象外です。
- 構成員への利潤の配分はありません。
※営利事業は助成の対象外です。

(記入後)

- 申請書の代表者の欄に押印しましたか。
- 申請額は助成対象費目の2分の1以内で、20万円以内となっていますか。
- 申請額や予算額は千円単位（小数点不可）で記入されていますか。
- 実施日時の項目に時間が記入されていますか。
- 実施場所の項目に会場名（部屋名）も記入されていますか。
- 必要項目は全て記入しましたか。
※各項目について、必要事項は全て申請書（1ページ1枚）に記入してください。ゲスト出演（出品）者名簿を除き、必要事項を別紙に記入して提出することはできません。
- 申請書（No.1～5）の各ページは、1ページ1枚に納まるように記入若しくは入力していますか。
※印刷して提出する場合は、印刷設定に注意してください。